



## —第13次県費事務改善検討委員会の報告—

2018年度の県事協の事業である「第13次県費事務改善検討委員会」では、昨年度に全面改訂した「諸手当認定・電算マニュアル」と「学校事務の実務手引書」の加除・追録作成の他、実務手引書に新たに「給与事務編」を追加しました。このことにより県事協の「県下の学校事務職員が等しく情報を共有・享受し、広域的に連携する」という目標に更に寄与できれば幸いです。

「給与事務編」を追加するにあたり、各地区から推薦いただいた県費事務改善検討委員の皆様には、夏季休業中に3回開催された県費事務改善検討委員会での検討他、例年よりさらに多大なご協力をいただきました。また常任・常設委員の皆様には、「諸手当認定・電算マニュアル」が両面印刷になってから初の加除・追録ということで、今回も気の抜けない地道な作業をなし遂げてくださいました。

さらに今回から「共済組合記入例」はホームページと県事協CDでの公開に変更し、あわせて新規に作成した「出産・育児」ハンドブックも同様の方法で公開することになりました。

今年度も県教委や共済組合をはじめとした各福利厚生団体にも、ご多用な中点検いただいています。

毎年のことですが、多くの方のご協力のもとに県事協の事業は進められています。多くの方の善意と熱意に感謝するとともに、ぜひ皆様に活用いただけたらと願うところです。

「会員みんなで寄ってたかってつくりあげる」のが県事協という団体です。

皆様に活用して頂き、改善点や修正すべきところを寄せて頂くことにより、よりよいものになればと願っています。

これからも各地区評議員及び会員の皆様のご理解とご協力をお願いします。

報告：事業担当理事 鞆

### 第4回評議員会が開催されました

2月28日(木)県教職員互助組合会館にて、第4回評議員会が開催されました。

会の冒頭で、教職員共助会の加治屋常務理事より日頃からの感謝と来年度の100周年記念事業についての概要説明がありました。尾木 直樹さん(尾木ママ)の教育講演会をはじめ、様々な記念事業を計画中とのことでした。

協議の中では、まず今年度の事業経過・決算報告、次年度の事業計画・予算案が提案されました。次年度の事業内容は、基本的に今年度を踏襲しますが、主なものとしては、旅費起点表の更新と県事協事業に対しての会員アンケートを実施する予定です。

次年度の予算は、昨年度より若干引き下げた年間1,400円となる見込みです。最終的な承認は8月の総代会にて行われますが、4月からは当日提案した暫定予算でスタートします。

また前回の評議員会で説明、提案しました日本教育公務員弘済会鹿児島支部からの研究団体助成金につきましては各地区からの意見集約の結果、県事協を窓口として各地区均等に分配する事になりました。運営細則においても、このように規定の整理を行います。

また、第13次県費事務改善検討委員会で作成した「諸手当認定・電算マニュアル」追録の進捗状況についても説明がありました。すでにお手元にマニュアル追録は届いているかと思いますが、お早めに差し替えをお願いいたします。今年度分の「県事協CD」につきましても作成が完了いたしましたので、市町村の代表者を通じて近々お手元に届くかと思いますが、様々な情報の詰まったCDですのでぜひご活用いただければと思います。

「学校事務現状報告会」は、来年度は8月9日(金)に互助組合会館にて開催いたします。内容等の案内につきましては後日、地区を通じて発送いたします。報告会への出席、また運営につきましても皆様のご協力をお願いいたします。

最後に大島地区から「奄美市立学校財務取扱規程」の制定、北薩地区からは校務分掌組織図に「事務部」を設置するとりくみの報告がありました。学校教育法の改正の「事務をつかさどる」も含めて、いずれも長年、現場の学校事務職員が地道に努力してとりくんできたことが、大きな成果として着実に広がってきているのではないのでしょうか。

日置市事務職員会の紹介

① 日置市について

日置市は、薩摩半島のほぼ中央に位置しており、鹿児島市、南さつま市、いちき串木野市、薩摩川内市と隣接しています。平成17年5月1日に東市来町、吹上町、日吉町、伊集院町の4つが合併して日置市になりました。毎年10月に行われる妙円寺詣りでは県内外から参加者が集まり、大変な賑わいを見せています。あまり知られていませんが、ホテルの名所も数箇所あります。

② 日置市の学校事務支援室について

平成29年度までは、支援室の区分けを旧町で分けており、また人数構成の都合で支援室を2つに分けた町もあり、伊集院A、伊集院B、東市来A、東市来B、日吉、吹上の6つの支援室がありました。

しかし平成30年で旧日吉町の小学校が統廃合した関係で5校から2校になったため、合議の結果伊集院Aと日吉町が統合し、伊集院Aの1校が伊集院Bに再構成されました。現在は伊集院A・日吉、伊集院B、東市来A、東市来B、吹上の5つの支援室で運営を行っています。

今後も小学校の統廃合が進む計画があるようですが、それはその都度話し合って支援室のあり方を決めるという方針になっています。

各支援室で月に2回を目処に業務を行っています。

③ 日置市事務職員会について

小学校15校（2人配置校1校）、中学校7校の計23名で構成され、年8回の研修会と1回の研修視察を行っています。研修の内容は、前半が市教委の所管説明、後半は事前に各支援室から集約した事例の研修や事務指導・市会計監査の実施報告などです。また、市事務職員会の主導による受給権調査を隔年で行い、認定関係の確実な事務処理に努めているところです。市費事務に関しては、旧町でそれぞれ支所を経由しての事務処理となるため、各町で事務処理の仕方に違いがあることも（細かい部分ですが）あります。研修視察は該当年度に行き先や内容を決定しており、平成28年からは、日置市の借上げによるマイクロバスで全員を対象にした出張を行っています。

【日置市ホームページより】



江口浜海浜公園



島津義弘公  
(JR伊集院駅)



山神の響炎  
(山神の郷公園, 日置市吹上町)

お知らせ

「出産・育児」ハンドブックが完成しました!

本年度の県費事務改善検討委員会で【「出産・育児」ハンドブック】を新たに作成しました。今回配布しました県事協CDに掲載しています。また県事協ホームページにも3月中旬より「福利厚生関係」のページに公開します。出産・育児に特化したマニュアルとなっていますので、会員の皆様や該当する教職員の方々、またこれから出産・育児に関わろうとしている先生方にとっても、福利厚生の手助けになればと思いますので、ぜひご活用ください。